

食環境衛生研究所では、犬や猫などの愛玩動物の SFTSV PCR検査を実施いたします

検体は全血を専用容器に入れご郵送ください（詳細はお問い合わせください）

SFTS 重症熱性血小板減少症候群

（ブニヤウイルス科フレボウイルス属によるマダニ媒介性ウイルス性出血熱）



【 症状 】

潜伏期間：6～14日

発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)、頭痛、筋肉痛、意識障害等の神経症状、リンパ節腫脹、皮下出血や下血などの出血症状などが起きます



ご注意ください

全国各地でSFTSV陽性マダニが確認されています

国内での致死率は

ワンちゃん：30% **ネコちゃん：60～70%**

人間：27% というデータもあります

感染報告は**春と秋に増加傾向**にあります

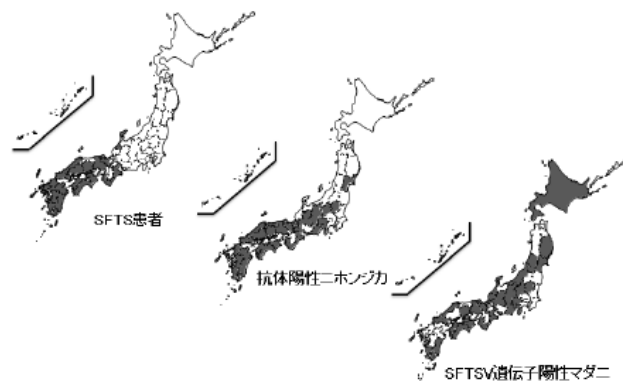


図1. 国内の患者とSFTSVウイルスの分布

IASR



一度で大量に産卵!!

マダニの生息場所

シカやイノシシ、野ウサギ等の野生動物が
出没する環境に多く生息していますが、
民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道等にも
生息しています

ご相談がございましたら弊社にご連絡をお願い申し上げます。